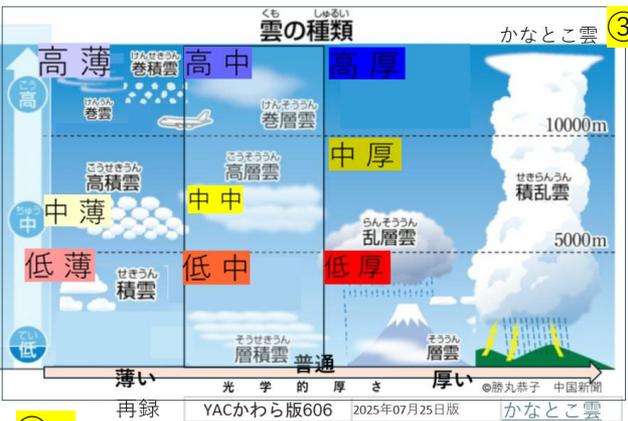
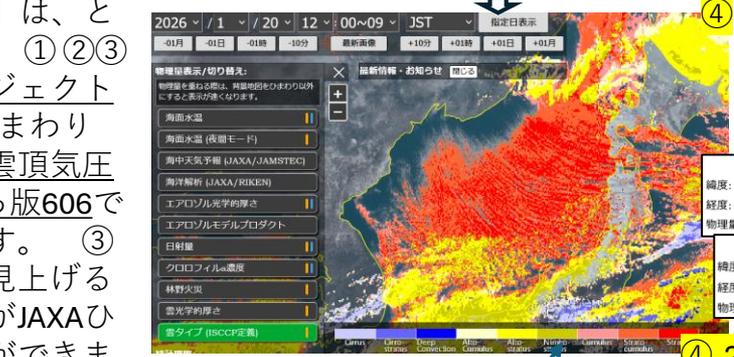


# YACかわら版675

## JAXAひまわりモニタ



JAXAひまわりモニタの「雲タイプ」は、とても興味深い情報を与えてくれます。①②③「雲タイプ」は国際衛星雲気候プロジェクト (ISCCP)の雲分類方法に基づいて、ひまわりデータから推定した雲光学的厚さと雲頂気圧を用いて分類しています。YACかわら版606では分類図とあわせた説明をしています。③住んでいる場所の上空の雲を日中見上げると、ほんの少しの時間差はありますがJAXAひまわりモニタで雲の種類を探ることができますね。

これまで説明していなかったJAXAひまわりモニター使用方法を紹介しましょう。冬期の冬型気圧配置の強い日には、大陸からの強風をうけて日本海上に雲が発生しています。この雲はどんな雲でしょうか。これまでは雲尺度④-2を画面上にドラッグしながら確認していましたが、次の方法も使用できます。便利です。

- ・ JAXAひまわりモニター画面上で調べたい場所をタップします。
- ・ 画面に位置情報と物理量：雲名が表示されます。
- ・ 表示欄の右上の閉める (close) をタップすると表示を消し、他の場所を調べます。

大陸から少し離れた日本海上の低い場所で、「積雲」→「層積雲」→「層雲」と雲が厚くなり日本列島の日本海側に達していることも確認できます。

「雲タイプ」表示をタップしてひまわり可視画像と交互に見るのも興味深いですね。



YACかわら版 632「台風22号」も、JAXAひまわりモニターを紹介しています。台風22号の周辺をタップして雲の種類を確認してみました。

JAXAひまわりモニターでは、高層・厚い雲を深い対流と表示しています。雲の名前が判明すると、JAXAひまわりモニターの雲タイプが一層身近に感じられますね。

2026年は、2月3日が節分、2月4日が立春です。 「雲タイプ」をつかって季節を追いませんか。

